



95th
Regular
Concert

明治大学ハーモニカソサエティー

御挨拶



部長
北島忠男



O B 会 会 長

毎年3月に卒業生を世に送り出し、4月には新入生を迎えて、自分達の手で着実に歴史を綴って来ている明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、今年も無事に春の定期演奏会を開催するはこびとなりました。近頃の大学サークルでは、古い伝統などにとらわれず自由に活動しようということから、いろいろな同好会が輩出しています。そうした風潮のなかで、この会場で演奏しようとしている学生達は、60年の歳月がたちかかってきた伝統の中に身を置き、自分達もまた伝統を創り上げて行こうとして、情熱を燃え立たせている若者達です。ハーモニカ音楽に託して謳い上げるこうした若者たちの主張を、今宵は是非とも最後までお聴き頂きたいと思います。明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、これからも絶えることのない歴史を刻んでいけますよう、ご来場の皆様の暖かいご支援を心からお願い申し上げます。(北島忠男)

昭和42年度には、ハーモニカ生誕140年記念演奏会が、日本ハーモニカ連盟主催にて九段会館に於て挙行され、続いて53年度には、明大ハーモニカ・ソサエティーの創立満60周年記念演奏会が、読売ホールに於て開催され、共に意義あるものでありました。現在我が明大ハーモニカ・ソサエティーは、60余年の星霜を経て、其の間斯界に指導的立場を堅持しつつ、又年々歳々卒業生を送り新入部員を迎え、先輩部員の築いた輝かしい歴史を受け継ぐことによって常に前進してまいりました。本年も四月より新入部員13名が加わり、共に練習にいそしんで居りますが、更に大きく飛躍して立派な成果がありますことを、心より祈って止まない次第であります。(布施莊兵衛)

大学音楽サークルとして60余年の長い伝統を誇り、幾多の秀れた先輩諸氏を擁している貴ソサエティーは、常に我々の目標であり、又その音楽に対する情熱、真摯な研鑽の姿勢には心打たれるものがあります。今宵の演奏会が、素晴らしいステージになりますようお祈り申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。(文責・早稲田 岩本典久)

早・立・中大学ハーモニカ・ソサエティー

手にする楽器こそ違い、その研ぎ澄まされた演奏には学ぶ所多く、同じ音楽を愛する同志として心強く思うしいです。本日も素晴らしい合奏が聴けるものと確信しております。

明治大学マンドリン倶楽部

若葉の香薫る今日この頃、本日は第95回定期演奏会に御来場下さいまして、誠にありがとうございます。さて今回は、一部では雨と海、二部は日本の旅情、そして三部においてはクロスオーバーを中心にお送りいたします。今宵音楽を通して若者のエネルギーが一つに溶け合い、そして皆様の心の中に何か伝わるものがありますならば幸いに思います。何分にも勉強の合間をぬっての練習ですので、未熟な点も多いかも知れませんが、部員一同精一杯演奏致しますので、終演までごゆっくりお楽しみ下さい。最後に、この演奏会に御協力いただきました方々に心から御礼申し上げます。

部員一同

東京  **学生割引**

コンタクトレンズ

◆高田馬場 209-4646 ◆新 宿 348-4646
◆池 袋 985-4646 ◆澁 谷 409-0005

